

# 輝くひとみ

ふるさと中仙で  
学びを拓き 未来を拓き 夢ふくらむ中仙小学校  
～夢に向かって 笑顔いっぱい みんなでチャレンジ～

## PTA授業参観

### まなざしを背に受けて!

#### ■《まなざし》を背に受けて

先週11日(木)のPTA授業参観へのご出席、ありがとうございました。師走の冷たい雨が降る中、温かなご協力をいただきました。そして、授業中のお子さんに熱いまなざしを向けられました。その《まなざし》を背に受けて、子どもたちは授業前のソワソワした気持ちを切り替え、はりきって勉強していました。



#### ■通信機能付き端末にも《まなざし》を

学級懇談で、子どもたちのインターネット利用について、その実態をお知らせしました。ゲーム機や音楽プレイヤーには通信機能付きもありますので、お子さんの利用の様子にも《まなざし》を向け、お子さんと話し合ってルールをつくってみてください。

#### ■緊急時にお子さんを迎えるために

緊急時の保護者迎え訓練にもご協力いただきました。そして昨年度の反省を次のように生かすことができました。

- ①メール受信後、確実に「返信」がありました。
- ②お子さんの迎えが、より「スムーズ」でした。
- ③帰宅する車のすべてが、10分程度の時間内に学校を出発できました。

帰りの際、狭い校庭でもご協力いただきました。今回お配りしたマニュアル(保存版)をご家族みなさんで確認くださり、万が一に備えてくださるようお願いいたします。

## 4年生以上 秋田県学習状況調査に挑む 根気強く 順序よく 考えた!

今月初め、秋田県学習状況調査が、県内の全小中学校で、次のように実施されました。

#### \*\* 実施の概要 \*\*

- [対象] 小学校4年生以上
- [内容] テストとアンケート
- [テスト] 国語、算数、理科、  
社会(4年生は社会なし)



#### \*\* 子どもたちの様子 \*\*

テスト範囲は、前年度も含む今年度4月からこれまでの学習内容。そこで、子どもたちは家庭学習で復習に特に力を入れて、このテストに臨みました。

テスト終了後、子どもたちから「がんばった。でも大変だった。」という声が聞かれました。さて、何が大変だったのでしょうか。

#### \*\* このテストの特徴 \*\*

- ① 問題文が長い。文意を理解する力が必要。
- ② 資料が多い。読み取る力が必要。
- ③ 文章で答える問題がある。書く力が必要。つまり、知識だけでなく、読解力や思考力、記述力が試されているのです。

#### \*\* ふだんの生活でも \*\*

このテストに、子どもたちは途中で投げ出さず、むしろ根気強く取り組んでいました。この「根気強さ」が、伸びる力の土台です。

また、難しそうに見える問題も、順序よく考えれば解答できるので集中して取り組んでいました。複雑な事柄も、じっくりと「順序よく」考える習慣が伸びる力の土台です。

そして、話の内容を聞き取って話す、分かりやすく話す「対話の力」も伸びる力の土台です。授業に限らず、ふだんの生活でも、こうした対話を大切にしていきたいものです。

## 食育・防災学習

先週11日(木)のPTA学級懇談の時間に、全校の子どもたちが、体育館で食育と防災学習を行いました。

### 食育

『おやつ』について給食センターの森泉先生のお話を聞きました。

森泉先生は「子どもは胃袋が小さいので、1回に食べられる量が限られ、一日3回の食事だけで足りない分を午後の間食（おやつ）で補います」。でも「スナックには栄養はなく塩分や糖分が多いため、食べ過ぎると虫歯になりやすく肥満にもなりやすい」と食べすぎを忠告されました。

そして、おやつの目安は、「ポテトチップスなら1/2袋に当たる100個～150個」。子どもたちは「メロンパン1個は370個」と聞き、悲鳴のような驚きの声を上げていました。



終わりに子どもたちから次々手が挙がり、「野菜ジュースはどうですか」の質問に「野菜は栄養があるが、野菜ジュースにするとかなりの糖分が含まれる。ジュースより野菜そのものを食べてね」とアドバイスされました。

おやつは子どもたちにとって大きな関心事。今回のお話を受けて、子どもたちはおやつのとり方を見直していました。

### 防災学習

PTA学級懇談の時間帯に、子どもたちは体育館で、地震発生時、どこにいても自分の身をしっかり守れるように学習しました。子どもたちは、避難訓練で、まず机の下にもぐって身を守る行動はできます。

さて、廊下にいるとき、家にいるとき、外（グラウンドや市街地）にいるとき、どうしたらよいか？ 基本的には、どこにいても、◎窓や倒れてくるものから離れる。

◎頭を守る(机・テーブル・カバンなどで)。

このことを改めて確認した子どもたちの防災意識をこれからも高めていきたいものです。



## 4年生 助産師さんに学ぶ

### 命を大切さを考えよう

秋田県助産師会から講師を迎え、4年生が先月26日に命について考える学習をしました。そして学習をふり返って書いた感想から、子どもたちが大切なことを学んだことが感じられましたので、以下に紹介します。



赤ちゃん(人形)を抱く

お母さんのおなかにいる3か月目の赤ちゃんは軽かったです。5か月目の赤ちゃんは少し重かったです。7か月目の赤ちゃんは重かったです。そして生まれてきた赤ちゃんはとても重かったです。(赤ちゃんがお母さんのおなかから出てくるとき)赤ちゃんが手を使わないで出てくるのにおどろきました。赤ちゃんの肩が大きく、出口が小さいので、助産師さんが引っぱって出てくるのが分かりました。この勉強をして、自分の命を大切にしていこうと思いました。

(□□□□さん)

(赤ちゃんの始まりは)ゴマより小さかったのに、10年たった今、こんなに大きくなりました。ぼくたちが、卵子40万分の1、精子3億分の1の確率で生まれてきたのは奇跡だなと思いました。ありがとうございました。

(□□□□さん)

赤ちゃんの人形を持ってみて、生まれたての赤ちゃんは予想していたより重かったです。たった一つの大切な命は、「おぎゃあ」と最初に泣いたとき、初めて息をすって始まるのが分かりました。誕生日は命の記念日ということも分かりました。

(□□□□さん)

私は、お母さんの大変さが分かりました。お母さんのおなかの中に赤ちゃんがいて、下が見えないから気をつけて歩いていることなどを聞いて、こんなに大変なんだと感じました。そして、赤ちゃんのだき方がむずかしかったです。両手で赤ちゃんの体と頭をおさえてあげないと、頭を(赤ちゃんが)自分でささえることができなくて、頭が後ろにたおれてしまいます。だから、しっかり頭をおさえてあげることが大切だと分かりました。

(□□□□さん)